

沖縄県伊是名村 財政健全化計画完了報告(要旨)

1 財政健全化計画の平成 23 年度実施状況

1 具体的な措置の実施状況

- ・ 地方税等の滞納整理について、夜間徴収等の徴収強化に取り組み、おおむね計画額どおりの歳入を確保した。
- ・ 公有財産の売却により計画額を上回る歳入を確保した。
- ・ 法定外目的税（環境協力税）による歳入の確保については、計画に近い歳入を確保したが、台風襲来による影響により来島者が減少し計画額には達しなかった。
- ・ ふるさと納税の呼びかけにより計画どおりの収入を確保した。
- ・ 一般職の期末勤勉手当の減額措置及び管理職手当の全額カット、特別職の給料の減額措置を継続した。
- ・ 公営企業（船舶運航事業）で経営改善に取り組み、一般会計からの基準外操出を削減できたものの、計画した削減額には及ばなかった。
- ・ 地方債の繰上償還により、計画どおり将来負担すべきであった利子相当額の軽減が図られた。

2 歳入及び歳出に関する計画の実施状況

- ・ 財政健全化計画における平成 23 年度中の効果計画額と実績額の比較

（単位：百万円）

内容		効果額	
		計画額	実績額
歳入	地方税等の滞納整理等	0.2	0.1
	公有財産の売却等	2.5	4.3
	ふるさと納税制度の活用の呼びかけ	0.5	0.6
歳出	公営企業に対する基準外操出の削減	18.0	12.0
	地方債の繰上償還による利子相当額の軽減	7.3	7.7

3 健全化判断比率の状況

（単位：％）

内容	計画 前年度 (20 年度)	計画初年度 (21 年度)		平成 22 年度		最終年度 (23 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
実質公債費比率	28.0	28.2	28.4	25.8	26.2	24.0	22.8

4 その他財政の早期健全化に必要な事項の措置の実施状況

- ・ 外部的要因による歳入の減少に備えた財政運営を図るため、財政調整基金、減債基金及びその他特定目的基金への積立を計画どおりに行った。

- ・ 船舶運航事業特別会計では、これまでの経営改善や観光客の集客が進んだ結果、事業収益が増加し黒字に転換した。
- ・ 簡易水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計では、平成 20 年度に料金改定を実施しているが、引き続き適正な料金設定について検討していくとともに、夜間に滞納料金の徴収に取り組んでいる。

2 今後の財政の運営の方針

(1) 健全財政の確保に関する事項

経費の効率的使用に関する事項

- ・ 今後とも職員数及び給与の適正化に取り組む。
- ・ 光熱水費、消耗品費等の経常経費の徹底した節減を継続する。
- ・ 各種補助金等については、継続して見直しを行い、補助費等の抑制に努める。
- ・ 新たな地方債の発行抑制及び公債費の計画的な償還を行う。

収入の確保に関する事項

- ・ 村税等の滞納整理の強化による収納率の向上に努める。
- ・ 未利用財産の売却及び貸付を積極的に進める。
- ・ ふるさと納税制度（寄付）の積極的な活用の呼びかけ等による収入の確保に努める。

その他

- ・ 実質公債費比率を早期に 18%未満とし、起債許可団体から協議団体に移行できるよう、各種取り組みを積極的に実施する。

(2) その他財政の運営の合理化に関する事項

- ・ 住民の安全、安心の確保と地域経済の活性化を図りつつ、住民から信頼される財政運営に努める。